

Wakayama Jonan Rotary Club

Rotary



2023-2024 Club Weekly

No.1623 2024年4月11日(木)

事務所 ☎640-8215 和歌山市橋丁23(N-4ビル2F)
TEL(073)432-1615 FAX(073)423-4002
E-mail: wa.jonan@nifty.com

例会会場 ☎640-8262 和歌山市湊通り丁北2丁目1-2 アパローム紀の国
TEL(073)436-1200

例会日時 毎週木曜日 18時30分～19時30分

- | | | |
|-------------|---------------|----------------|
| 会長 東 徹 | クラブ奉仕 曾和勝彦 | 国際ロータリー会長 |
| 幹事 岡本昌也 | 職業奉仕 山縣好希 | ゴードン R. マッキナリー |
| 直前会長 前田浩二 | 社会奉仕 宮本政幸 | 第2640地区ガバナー |
| 会長エレクト 堂西誠治 | 国際奉仕 山本好信 | 谷 宗光 |
| 副会長 根岸憲一郎 | S. A. A. 東直樹 | |
| | 会計 溝上裕章 | |
| | クラブ会報委員長/山井忠治 | |

2023～2024年度
国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう

◆本日のロータリーソング 奉仕の理想



4月 環境月間

本日のプログラム

★外部卓話
「和歌山のごみ処理と現状について」

和歌山市 市民環境局 環境部 青岸清掃センター
管理第1班 主査 宮本 貴史 様
環境啓発指導員 川崎 さくら 様

次週のプログラム

★〈延期開催〉クラブフォーラム
「I.D.M.発表②」

テーマ：コロナ禍以来、中止している
「和歌山市子ども暗唱大会」の今後のあり方と、
並行して行える事業案などの検討について

先週の例会記録

令和6年4月4日(木)

- ゲスト紹介 御堂直樹様
- 出席報告(会員数37名) 出席規定適用免除会員 9名
4月4日 出席20名(内免 6名)
ホームクラブ出席率 58.82%
- 個人寄付 [ロータリー財団] 宮本政幸会員
[米山奨学会] 根岸憲一郎、武野英紀、山本好信会員

会長報告



会長 東 徹

皆様今晚は、桜が咲き始めお花見の季節となりました。

4月1日から新年度のスタートで色々な事が新しく始まります。中でも我々経済人が注目したいのが、働き方改革の一つとして実施される残業規制です。まずは4業種でスタートしました。1. 自動車運転業 2. 建設業 3. 医師 4. 沖縄と鹿児島県の製糖業 この4業種からのスタートですが、いずれ多くの業種に規制は始まると思います。「就労環境の改善」が期待される一方で、

人手不足が更に深刻化するであるとか、物流の停滞・建設工期の遅滞等（景気の減速）に繋がる事も懸念される事から、ここに来て社会全体で働き方を見直す必要もでてきました。

会長報告ですが、例会前に定例の未来改革委員会とその後理事役員会を開催しました。未来改革委員会では、①和歌山市子ども暗唱大会 ②新規奉仕事業の立ち上げについて、理事役員会では6月9日(日)の献血活動実施。

この後、JR和歌山支社地域共生室の御堂課長の外部卓話です。宜しくお願い致します。

幹事報告



幹事 岡本昌也

- ①ガバナー月信4月号を回覧いたします。
- ② [ロータリーレートのお知らせ] 4月151円*3月と同じ

委員会報告



■会場監督 (東直樹SAA)
毎週ニコニコへのご協力有難うございます。
本日は外部卓話です。卓話中はご清聴宜しくお願いします。

●出席率向上の為、下記会場にてメーキャップお願い致します。

RC名	和歌山北	和歌山アゼリア	和歌山	和歌山西	和歌山東南	和歌山東	和歌山南	和歌山中
例会会場	ダイワロイネットホテル和歌山	アパローム紀の国	ダイワロイネットホテル和歌山	サンプレストビル2F	アパローム紀の国	ダイワロイネットホテル和歌山	ダイワロイネットホテル和歌山	ダイワロイネットホテル和歌山
曜日	月	月	火	水	水	木	金	金
時間	12:30	12:30	12:30	12:30	12:30*	12:30	12:30	19:00

*第1・2水は18:30～19:30 第3・4・5水は12:30～13:30
※ダイワロイネットホテル和歌山…現在、改装工事のため休業中

「JR西日本和歌山支社の取り組み」



JR西日本和歌山支社 地域共生室課長
御堂直樹様

JR西日本和歌山支社の取組を紹介します。和歌山支社での大きな課題として、『ローカル線』いわゆる赤字路線を今後どうしていくかということです。既にプレス等で公開していますが、白浜駅～新宮駅間においては年間28億円近い赤字が毎年出ているという事実です。赤字が出るということは利用者が少ない、では、利用者が少ないのは何故かと考えた時に、いくつかの原因があると考えています。パブリックコメントからは、列車本数が少なく不便、駅からの目的地までの2次交通がない、高速道路が整備され便利になってきている、等々いくつかの原因が明らかになっています。

『利用者が少ないので列車本数を減らす』⇒『列車本数がなく不便で利用づらい』という負の連鎖があるのも事実です。そもそも、鉄道の特異性というのは『大量輸送』であり、利用者が少ないとなれば、その目的や役割を果たせていないのではないかと考えています。しかしながら、列車や駅は昔から地域に当たり前にあるものであり、また、町の玄関口でもあり、無いことを想像したのでしょうか。地域のシンボリックなものとして『駅』は重要な存在であり、当然、あれば便利なのですが、企業としては利用者がなければ運輸収入もなく、鉄道オペレーション、設備維持が厳しくなっていきます。和歌山県の住民の皆様が年に1度利用していただくだけでも、例えば、仕事での出張や旅行を車から鉄道に置き換えるだけでも大きく状況は変わります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、和歌山県は自然があり、温泉があり、食があり、文化があり、歴史があり、温かい人がいます。これらの多くの素材(ポテンシャル)を活かして、1人でも多くの人を和歌山県に人呼び込み、その何パーセントでも鉄道を利用してもらえることが、我々が願うことであり、取り組むべきことだと考えています。また、私個人的に思うのが、夏場とそれ以外の時季の観光等で訪れる人数の偏差に大きな差があり、この差をいかに縮めるかがポイントと考えています。夏場は和歌山には海や川あるので、白浜をはじめ多くの観光地にはそれなりに人が訪れてくれます。それ以外の時季に人呼び込み、人を魅了する何かがあれば、この偏差は必ず縮まると考えています。そこで、今和歌山支社で取り組んでいる大きなプロジェクトとして、既にご存じの方も多いかと思います『きのくに線サイクリストレイン』を紹介します。今までは輪行バック(専用カバン)に自転車を解体しバックに収納して列車に乗るのがルールであったものを、和歌山支社の和歌山駅から新宮駅まで自転車をそのまま乗せることのできるサービスです。※和歌山駅～御坊駅間は予約が必要

サイクリングブームもあり、昨年度は1万5千人近くの利用がありました。利用者はサイクリングが好きなサイクリストもあれば、買い物やクラブ活動等で普段利用していただいている地元住民の方々もいます。この先も、この取組を進化(深化)させていければと考えています。

その他にも観光特急『銀河』も京都駅～新宮駅間を3年連続運行しており、先日3月3日に今年度の最終運行を終えました。銀河は鉄道ファンだけではなく、幅広い観光列車として人気のある当社が誇る列車の1つでもあります。来年度についても今年が世界遺産登録20周年の年でもありますので、是非とも夏に和歌山に銀河が運行してくれるように社内にて調整を進めています。機会があれば乗車いただき、贅沢な時間をとお過ごしください。

これからは、今進めているプロジェクトをいくつか紹介したいと思います。

前段でも申し上げたように、和歌山の魅力を知ってもらうことが重要ポイントと考えています。今まで存在している観光素材や観光スポットにどうしたら、それを求めて来てもらえるか、そんなことを考えていました。

お皿で料理の味が変わると言われるように、同じ素材の見え方を変えることにより伝わり方やそのものの価値や魅力を変える、操作できるのではないかと考えました。例えば、『きのくに線駅マルシェ』については、有田市に存在する無人駅、初島駅、箕島駅、紀伊宮原駅にどうにかして人を集めることができなにか考えました。来てもらいたいターゲットを先ず決めて、そのターゲットの欲に刺さる中身を考える、どのように発信してマーケティングするか。『誰に、何を、どのように』の順で考え、今までのJR西日本には

ないプロモーションの仕方やJR色を消して発信して集客に努めました。結果は想像を大きく超える7,000人の人がこの3駅に集まり今や有田市の半年に1度の名物イベントになっています。

それ以外にも『情報発信を得意な人に任せよう』『素人がどんなに頑張っても限界ある』という発想から、『Local Diver』という企画を立ち上げました。これは、全国からSNS発信が得意な人を一般公募し、選ばれた10人を和歌山の紀南エリアに1年間を通じて定期訪問してもらい、現地の人とともに過ごしてもらい、現地に実際に来てもらい五感で感じてもらいながら、その感じたものをSNSで発信してもらう。その情報を見た人が和歌山に訪れたいくなる、訪れるきっかけになる、というのが目的の新規企画です。また、スタートしたばかりですが、選ばれたDiverの方々も積極的に活動してくれており、地域の評価も高く、今後も継続して、2年3年と新たなエリアにおいても拡大、継続していきたいと考えています。

また、大きな課題であり、取り組むべきミッションでも『駅の利活用』についてお話します。きのくに線、和歌山線にあるほとんどの駅は無人駅です。その無人駅をそのまま放置するのではなく、新しい価値観を与え、見え方を変えることにより、駅を利活用するようなことも地域、行政に提案を行っています。駅が目的地、電車に乗らない人も集まる空間作りを目指して様々なことを行政の方と考えたりしています。これも使われない駅舎は維持管理していくにもコストがかかることから会社全体で鉄道オペレーションに必要な最低限の機能だけを残す『シンプル化』が進められていきます。地域に愛され続けてきた『駅舎』を地域の人が管理、コーディネートしていく、そんな駅や街作りができればと考えています。今、複数の行政が我々の提案に関心を示してくれており、今後数年かけて一つでも多くの駅が人の集まる空間に生まれ変わればと考えています。

最後に我々は今まで鉄道事業を軸に企業活動を行ってきましたが、世の中の価値観や手段が変容してきています。我々はそれらの時代の変容の流れに後れを取らないように鉄道事業だけではなく新たなチャレンジに最初に飛び込む『ファーストベンゲン』になれるように和歌山支社地域共生室として邁進していきます。



～講師の御堂様を囲んで～
柏原プログラム委員長、東会長、岡本幹事、東SAA

ニコニコ箱

柏原康文会員…御堂様 卓話よろしくお願ひします。
川崎行彦会員…紀三井寺 桜満開です！ 根岸憲一郎
会員…桜も見ごろですね！ 御堂様 卓話よろしくお
願ひします。 前田浩二会員…御堂様、卓話宜しくお
願ひします。 堂西誠治会員…理事・役員会 おつかれ
様です 曾和勝彦会員…ニコニコへ!! 部家安有美会
員…休みます。すみません 東 徹会員…御堂様 本
日卓話宜しくお願ひ致します 岡本昌也会員…御堂様
本日宜しくお願ひ致します 東 直樹会員…御堂課長
様 よろしくお願ひします

合計¥21,000 累計¥739,000

2023-2024年度
同好会ゴルフコンペ 第5回(通算205回)
3月31日(日) 泉南カンツリークラブ 参加者12名

		OUT	IN	G	HC	NET
優勝	千田 耕次	40	37	77	4	73
2位	東 徹	40	40	80	6	74
3位	曾和勝彦	49	50	99	23	76

●ベストグロス 千田耕次 77

参加者 光林正明、堂西誠治、前田浩二、大桑埴嗣、
岡本昌也、寺坂雄次、山名充行、溝上裕章、
大塚侑子 会員